

環境調査結果のお知らせ

平成26年2月7日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温12~14°C、塩分32、溶存酸素量8~9mg/lでした。
透明度は5~7mで、有害種のケラチウム・フルカが僅かに確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は12.0~13.5°C、塩分は32.1~32.4で、前回調査時(H26.1.6)と同程度でした。

溶存酸素量(表3)

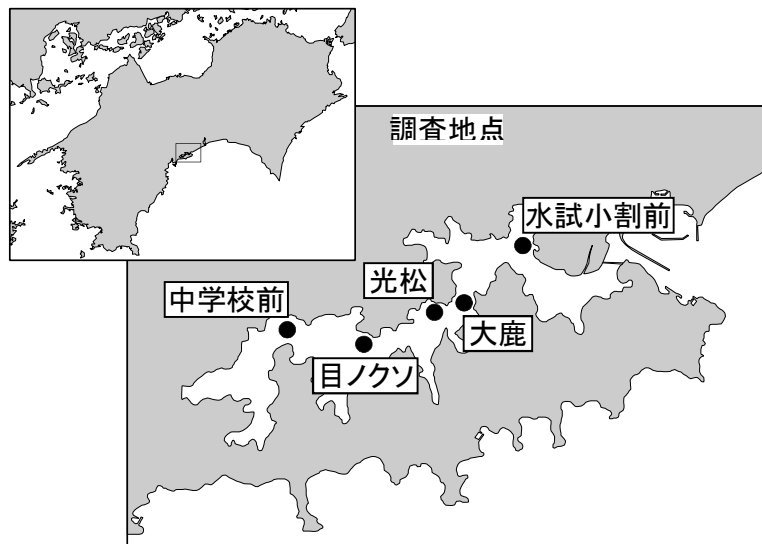
溶存酸素量は7.9~9.1mg/lで、前回より1mg/l上昇していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は5.4~6.8mでした。

検鏡の結果、有害種のケラチウム・フルカが最高1cell/ml確認されました。その他に、有害種は確認されませんでした。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度
ケラチウム・フルカ(餌食いの悪化): 100cells/ml

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H26.1.6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	12.0	12.5	13.2	13.2	13.4	13.0	12.7	0.2
2m	12.0	12.5	13.2	13.2	13.4	13.0	12.7	0.2
5m	12.0	12.5	13.1	13.1	13.4	12.9	12.7	0.2
10m	12.0	12.5	12.9	12.8	-	12.7	12.7	0.0
B-1m	12.0	12.3	12.3	12.4	13.5	12.3	12.8	▲ 0.5

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H26.1.6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	32.2	32.3	32.3	32.3	32.1	32.3	32.3	▲ 0.0
2m	32.2	32.3	32.4	32.3	32.1	32.3	32.3	0.0
5m	32.2	32.3	32.4	32.3	32.3	32.3	32.3	0.0
10m	32.2	32.3	32.3	32.3	-	32.3	32.3	0.0
B-1m	32.2	32.3	32.3	32.3	32.4	32.3	32.3	▲ 0.0

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H26.1.6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	9.1	8.7	8.4	8.4	8.1	8.5	7.9	0.5
2m	9.0	8.6	8.3	8.3	8.0	8.4	7.8	0.5
5m	8.9	8.6	8.3	8.3	8.0	8.4	7.8	0.6
10m	8.9	8.5	8.3	8.3	-	8.4	7.7	0.6
B-1m	8.9	8.5	8.1	8.1	7.9	8.2	7.7	0.5

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.1	16.9	18.1	17.8	10.1
透明度	5.4	5.8	6.4	6.4	6.8
前回透明度	6.5	7.1	7.4	7.8	8.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		ケラチウム・フルカ	ヘテロカプサ・トリケトラ	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、スピラレ)	ケイ藻類
中学校前	0m	0	5	1	5	8
	2m	1	4	0	11	8
	5m	0	7	0	11	9
目ノクソ	0m	0	5	0	2	0
	2m	0	4	0	0	0
	5m	0	7	1	1	0
光松	0m	0	3	0	4	4
	2m	0	4	2	0	9
	5m	0	2	0	1	16
大鹿	0m	0	2	0	3	5
	2m	0	0	0	2	2
	5m	0	0	0	2	0
水試小割前	0m	0	0	0	3	2
	2m	0	0	1	1	5
	5m	0	1	0	2	12